

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
ヒトES細胞由来肝細胞の分化誘導法確立と細胞移植における有用性の検討	猪飼 伊和夫	肝胆膵・移植外科	5,500,000	補 委 文部科学省基盤研究(A)新規
抗原感作後の紫外線照射による制御性T細胞を介した抗原特異的な免疫寛容誘導の解析	堀 智英	肝胆膵・移植外科	800,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
小胞体ストレス制御による肝癌治療の適応拡大	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	1,900,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
新規表面抗原の同定に基づくマウス肝幹細胞の分離および特性解析	安近 健太郎	肝胆膵・移植外科	1,400,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
肝幹細胞単離および肝癌細胞との特性比較解析による肝癌幹細胞同定	猪飼 伊和夫	肝胆膵・移植外科	1,400,000	補 委 文部科学省萌芽研究継続
膵幹細胞分化に関わるPTF1A遺伝子上位制御システムの解明	川口 義弥	肝胆膵・移植外科	1,600,000	補 委 文部科学省萌芽研究新規
切除可能膵胆道領域がんに対する補助療法の研究	土井 隆一郎	肝胆膵・移植外科	600,000	補 委 がん臨床研究事業継続
重症インスリン依存状態糖尿病に対する免疫制御剤を併用した心停止ドナー膵島移植の検討	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	14,300,000	補 委 (株)レメディス
臓器移植における新たな免疫抑制療法の開発に関する研究(SRP)	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	30,000,000	補 委 アステラス製薬(株)
切除不能進行膵癌(局所進行又は転移性)に対するGemcitabine療法 / TS-1療法 / Gemcitabine+TS-2併用療法の第Ⅲ相無作為化比較試験	土井 隆一郎	肝胆膵・移植外科	単価315,000	補 委 大鵬薬品工業(株)
シロスタゾールの肝線維化抑制効果に関する基礎的検討	秦 浩一郎	肝胆膵・移植外科	6,500,000	補 委 大塚製薬(株)
アンジオポイエチン-2受容体系の制御による糖尿病網膜症の早期病変抑制治療	王 英泰	眼科	1,900,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
ゲノム解析、幹細胞生物学を利用した日本人加齢黄斑変性の発症と進行機序の解明	吉村 長久	眼科	5,700,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)継続
網膜培養系を用いた血管新生のメカニズムとその制御	西嶋 一晃	眼科	1,600,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
スペクトラルドメイン光干渉断層系による緑内障診断プログラムの開発	板谷 正紀	眼科	1,500,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入力すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入力すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
温度感受性リポソーム法を用いた黄斑変性の病態解明と新治療法の開発	田村 寛	眼科	1,700,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
角膜血管新生における血小板・血管内皮前駆細胞の動態の同時観察およびその機能解析	山城 健児	眼科	1,800,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
高深さ分解能OCTの研究評価	吉村 長久	眼科	16,800,000	補 委 株式会社トプコン
高解像度眼底イメージング装置による生体画像情報取得と画像等解析ソフトウェアを用いる評価手法の検討	吉村 長久	眼科	5,433,750	補 委 株式会社ニデック
3D OCT-1000用眼疾患解析/診断支援ソフトウェアの研究	吉村 長久	眼科	7,020,000	補 委 株式会社トプコン
卵巣癌播種性転移のシグナル経路解析とその抑制物質の探索	小西 郁生	産科婦人科	5,500,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)継続
生殖過程における組織再構築機構の解析-体循環細胞による再生機序の解明を目指して-	藤原 浩	産科婦人科	5,600,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)新規
免疫賦活遺伝子を導入した血管内皮前駆細胞を用いた婦人科腫瘍の新生血管標的治療	万代 昌紀	産科婦人科	1,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
マイクロアレイによる、卵巣明細胞腺癌に有効な薬剤の探索	松村 謙臣	産科婦人科	1,350,000	補 委 文部科学省若手研究(スタートアップ)継続
自己免疫の活性化を利用した新しい婦人科癌免疫療法の確立と臨床応用	高倉 賢二	産科婦人科	6,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(A)継続
胎生期低栄養による成長後の代謝異常発生機序の解明とその予防戦略の開発	由良 茂夫	産科婦人科	8,112,000	補 委 (独)科学技術振興機構
難治性血液腫瘍疾患に対する新規治療法の開発と新規細胞死機序の解析	足立 壯一	小児科	1,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
ヒトES細胞の増殖分化機構の解明とその臨床応用に向けた基盤技術開発	中畑 龍俊	小児科	25,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(S)継続
繊維芽細胞由来ES様細胞(iPS細胞)を用いた造血・免疫細胞作成の基盤技術開発	平家 俊男	小児科	5,400,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)新規
C I A S 1 遺伝子異常を伴わないC I N C A症候群の病因病態の解明	西小森 隆太	小児科	1,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入力すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入力すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
体細胞より作成された胚性幹(E S)様細胞を用いた造血細胞作成の基盤技術開発	平家 俊男	小児科	1,600,000	補 委 文部科学省萌芽研究継続
シスタチンCを用いたヒト胚性幹細胞由来の神経幹細胞作製の基盤技術開発	加藤 竹雄	小児科	1,300,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
新規FGF2阻害分子の同定・機能解析と臨床応用	山中 康成	小児科	1,500,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
線維芽細胞由来人工万能細胞の心筋内皮への分化の検討と胚性幹細胞との比較	馬場 志郎	小児科	1,700,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
CINCA症候群患者の臨床的解析と疾患関連CIAS1遺伝子変異の機能的解析	斎藤潤(DC2)中畑龍俊教授	小児科	900,000	補 委 文部科学省特別研究員奨励費継続
特発性造血障害に関する調査研究	中畑 龍俊	小児科	2,000,000	補 委 難治性疾患克服研究事業新規
新たな移植細胞療法に向けた造血幹細胞のex vivo増幅技術の開発と応用	中畑 龍俊	小児科	25,000,000	補 委 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業新規
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	中畑 龍俊	小児科	1,500,000	補 委 難治性疾患克服研究事業継続
臍帯血を用いる造血幹細胞移植技術の高度化と安全性確保に関する研究	足立 壮一	小児科	500,000	補 委 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業新規
胎児期および乳幼児期の栄養状態がメタボリック・シンドロームの発症に及ぼす影響に関する研究	河井 昌彦	小児科	2,000,000	補 委 国立循環器病センター
ヒトキフィリン遺伝子導入COS細胞培養上清中のヒト造血幹細胞増殖分化因子の解明-(4)	中畑 龍俊	小児科	5,670,000	補 委 アスピオファーマ(株)
京都大学iPS細胞研究統合推進拠点	中畑 龍俊	小児科	35,750,000	補 委 文部科学省
筋ジストロフィーに対する治療研究を臨床に展開するための統括的研究	平家 俊男	小児科	2,200,000	補 委 国立精神・神経センター
温熱感受性受容体の作動薬を基にしたダリエー病の治療薬の開発	高橋 健造	皮膚科	1,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
制御性T細胞局所投与による円形脱毛症治療法の開発	宮地 良樹	皮膚科	1,600,000	補 委 文部科学省萌芽研究継続

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
泌尿器科がんの統合的OMICSデータの臨床応用を目指した検証研究	小川 修	泌尿器科	7,400,000	補 委 文部科学省基盤研究(A)継続
ナノ複合体ベクターによる受容体ターゲティングを利用した膀胱特異的遺伝子治療法	兼松 明弘	泌尿器科	1,800,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
新規樹立Xenograftを用いた前立腺癌アンドロゲン非依存性増殖機構の解明	賀本 敏行	泌尿器科	1,000,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
膀胱発癌におけるG1-S期制御蛋白蓄積機序の解明と新規膀胱注化学療法開発への応用	渡部 淳	泌尿器科	1,080,000	補 委 文部科学省若手研究(スタートアップ)継続
新規樹立細胞株とXenograftを用いた前立腺癌に対する治療標的分子の同定	小林 恭 (DC1) 小川 修 教授	泌尿器科	900,000	補 委 文部科学省特別研究員奨励費継続
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	賀本 敏行	泌尿器科	1,000,000	補 委 がん臨床研究事業新規
前立腺癌の疾患感受性、治療反応性、および治療随伴副作用予測に関する遺伝子多型解析	小川 修	泌尿器科	5,000,000	補 委 文部科学省
先端的がん治療反応性予測用DNAチップの実用化開発	小川 修	泌尿器科	未定	補 委 東レ株式会社
内耳再生医療の開発ー内耳発生分子機構を応用したトランスレーショナルリサーチー	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	15,000,000	補 委 文部科学省基盤研究(A)新規
肝細胞増殖因子(HGF)・徐放ハイドロゲルを用いた内耳障害の低侵襲高度選択的治療	吉川 弥生	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
ドラッグデリバリーシステムを用いた細胞増殖因子による声帯萎縮の治療	平野 滋	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委 文部科学省萌芽研究継続
聴神経の機能再生：聴神経前駆細胞の聴神経内移植の試み	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,400,000	補 委 文部科学省萌芽研究新規
先天性・後天性高度難聴者の語音処理における聴皮質の変化	平海 晴一	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
BMPシグナル活性化による内耳有毛細胞の再生	坂本 達則	耳鼻咽喉科	1,300,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
ナノテクノロジー、再生医学を融合した人工内耳。人工蝸牛の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	22,100,000	補 委 感覚器障害研究事業継続

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部署	金 額 (円)	補助元又は委託元
前庭機能異常に関する調査研究	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 委 難治性疾患克服研究事業新規
感音難聴に対する内耳薬物投与システム臨床応用に関する研究	中川隆之	耳鼻咽喉科	12,000,000	補 委 厚生労働省感覚器障害研究事業継続
ナノテクノロジーを用いたDDSによる耳鳴の克服	坂本達則	耳鼻咽喉科	5,000,000	補 委 厚生労働省医療機器推進研究事業継続
各種生理活性物質の内耳傷害抑制・再生に関する基礎的検討2	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	2,002,000	補 委 小野薬品株式会社
京都大学 i P S 細胞研究統合推進拠点	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	24,700,000	補 委 文部科学省
Chemical Genetics を応用した内示感覚細胞再生技術の開発	中川 隆之	耳鼻咽喉科	2,000,000	補 委 (独)科学技術振興機構
脂肪細胞由来幹細胞を用いた内耳再生に関する研究	中川 隆之	耳鼻咽喉科	4,400,000	補 委 オリナス株式会社
水素水の感音難聴予防・治療に関する効果の検討	中川 隆之	耳鼻咽喉科	2,002,000	補 委 アイロム製薬株式会社
生体活性を有する多孔体チタンの運動器再建への応用	中村 孝志	整形外科	11,700,000	補 委 文部科学省基盤研究 (A) 継続
骨特異的新規分泌タンパクHA4の基礎研究および臨床応用	秋山 治彦	整形外科	3,600,000	補 委 文部科学省基盤研究 (B) 継続
多孔体人工骨を用いた自己生体内骨組織工学技術の開発	藤林 俊介	整形外科	1,400,000	補 委 文部科学省基盤研究 (C) 継続
新規癌関連蛋白C7orf24を標的とした骨軟部肉腫の分子標的治療	中山 富貴	整形外科	1,500,000	補 委 文部科学省基盤研究 (C) 継続
関節軟骨の質的評価-遅延相造影核磁気共鳴断層像と超音波反射波解析による比較	小林 雅彦	整形外科	900,000	補 委 文部科学省本学分担者用継続
関節軟骨の質的評価-遅延相造影核磁気共鳴断層像と超音波反射波解析による比較	中村 孝志	整形外科	100,000	補 委 文部科学省本学分担者用継続
滑膜から樹立した幹細胞による顎関節組織再生に関する基礎的研究	藤村 和磨	歯科口腔外科	6,500,000	補 委 文部科学省基盤研究 (B) 新規

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
BMP2発現アデノウイルスベクターおよび吸収性材料による骨再生に関する研究	海原 真治	歯科口腔外科	1,350,000	補 委 文部科学省若手研究(スタートアップ)継続
歯科口腔領域におけるアドレノメデュリンの有効性に関する研究	中尾一祐(DC1)別所和久教授	歯科口腔外科	900,000	補 委 文部科学省特別研究員奨励費継続
人工生体材料と評価システムの開発および応用(SRP)	別所 和久	歯科口腔外科	12,600,000	補 委 トヨタ自動車(株)
腫瘍低酸素を標的とした生物学的および物理工学的新規放射線治療戦略	平岡 眞寛	放射線治療科	14,300,000	補 委 文部科学省特定領域研究継続
医学物理の基盤構築を通じた先進的高精度放射線治療技術開発に関する研究(SRP)	平岡 眞寛	放射線治療科	13,000,000	補 委 三菱重工業(株)
マウスの同所性移植肺癌モデルとイメージングシステムを用いたTS-1と放射線の併用効果に関する研究	平岡 眞寛	放射線治療科	3,300,000	補 委 大鵬薬品工業(株)
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題3:PET/MRIシステム用分子プローブ製剤技術の開発(共通基盤技術、MRI用プローブ、自動合成装置)	平岡 眞寛	放射線治療科	23,735,250	補 委 日本メジフィジックス(株)
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題3:PET/MRIシステム用分子プローブ製剤技術の開発(共通基盤技術、MRI用プローブ、自動合成装置)	平岡 眞寛	放射線治療科	251,457,150	補 委 技術研究組合医療福祉機器研究所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題1.近接撮像型部位別PET装置(乳房用プロトタイプ)の開発(a-4)マンモ用PET装置のトータルシステムの開発課題2.高分解能PET-CT/MRIシステムの開発(b-4)全身用DOI型PET装置のトータルシステム	平岡 眞寛	放射線治療科	33,376,350	補 委 (株)島津製作所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題2.高分解能PET-CT/MRIシステムの開発のうち(c)MRIの高機能化に関する研究開発(c-1)躯幹部拡散強調画像を広い領域・高速に撮像する技術の開発(c-2)末梢血流・代謝異常部位を高分解能に撮像する技	平岡 眞寛	放射線治療科	36,769,950	補 委 東芝メディカルシステムズ(株)
3次元CT画像を用いた高精度経時差分画像の作成とその臨床応用	石津 浩一	放射線診断科	2,100,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
MRI分子機能画像による子宮頸癌の治療効果の予測	中井 朝子	放射線診断科	1,800,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
アルツハイマー病のシステム解析のための分子プローブ開発:新しい画像診断法の構築	石津 浩一	放射線診断科	200,000	補 委 文部科学省本学分担者用継続
64列マルチスライスCTを用いた胸腹部領域の低線量プロトコルの検討	富樫 かおり	放射線診断科	1,000,000	補 委 東芝メディカルシステムズ(株)
MR装置の基本性能の向上 1)基本画質の向上 2)基本機能の向上	富樫 かおり	放射線診断科	2,970,000	補 委 東芝メディカルシステムズ株式会社

注)1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入力すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入力すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
ケロイド幹細胞：分離・同定とその発生病理学的意義	鈴木 茂彦	形成外科	3,700,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)継続
培養真皮、複合型培養皮膚の臨床応用に向けた基礎的研究	森本 尚樹	形成外科	1,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
セリンプロテアーゼ様蛋白HtrA1をターゲットとした新規ケロイド治療の基礎的検討	内藤 素子	形成外科	1,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
C5aアナフィラトキシン阻害ペプチドを用いた虚血再還流障害と挫滅症候群の治療実験	富士森 英之	形成外科	700,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
体表臓器の研究開発	鈴木 茂彦	形成外科	24,880,800	補 委 国立大学法人 東京大学
細胞増殖因子保持型新規人工真皮の実用化と皮膚欠損、皮膚潰瘍に対する応用	鈴木 茂彦	形成外科	9,542,000	補 委 (独)科学技術振興機構
細胞増殖因子保持型新規人工真皮の実用化と皮膚欠損、皮膚潰瘍に対する応用	鈴木 茂彦	形成外科	0	補 委 グンゼ株式会社
糖関連物質のケロイド及び肥厚生癬痕治療効果に関する研究	鈴木 茂彦	形成外科	2,200,000	補 委 生化学工業株式会社
ヒト誘導多能性幹(iPS)細胞由来心臓細胞の分化誘導と移植医療応用に関する研究	池田 義	心臓血管外科	10,000,000	補 委 再生医療実用化研究事業継続
内因性幹細胞の動員・生着・分化と心筋細胞肥大の情報伝達を標的とした新規心不全治療法	池田 義	心臓血管外科	2,000,000	補 委 政策創薬総合研究事業継続
心停止ドナーからの肺移植臨床応用をめざした大動物実験	伊達 洋至	呼吸器外科	8,100,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)新規
新規ナノキャリアーを利用した癌の標的治療	佐藤 澄	呼吸器外科	1,000,000	補 委 文部科学省萌芽研究新規
心臓死肺移植における、ドナー肺の評価とその保護に関する研究	陳 豊史	呼吸器外科	1,350,000	補 委 文部科学省若手研究(スタートアップ)継続
睡眠時無呼吸の間歇的及び持続的低酸素が血小板凝集能及び脂肪細胞に与える影響の検討	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学	2,100,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)新規
睡眠時無呼吸発生時のみ下顎前突させ閉塞が消失しなければ陽圧送気する治療装置の開発	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学	50,000	補 委 文部科学省本学分担者用継続

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入力すること。

3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入力すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
脳内情報処理の電気生理学的評価に関する研究	伊藤 順子	検査部	200,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
フローサイトメトリー技術を用いた異常細胞検出の研究	一山 智	検査部	905,100	補 委 シスメックス株式会社
ラジオ波焼灼術と経カテーテル肝動脈塞栓術併用療法の最適プロトコールの基礎的検討	柴田 登志也	放射線部	700,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
3テスラ磁気共鳴撮像装置における非造影血管撮像技術の開発	小山 貴	放射線部	900,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
ナノテクノロジーを利用した組織障害を最小化する臨床用膵島分離技術の開発	興津 輝	臓器移植医療部	5,900,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)継続
肝移植後のグラフト不全とグラフトの老化、寿命の関連	宮川 文	臓器移植医療部	1,400,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
生命科学・医学の発展に対応した社会規範形成ー生命倫理基本法の構築	江川 裕人	臓器移植医療部	200,000	補 委 文部科学省本学分担者用継続
信頼性の確立したGal完全ノックアウトプタを用いたプタ・サル間異種腎・膵島移植	興津 輝	臓器移植医療部	1,000,000	補 委 文部科学省本学分担者用継続
工学研究科・小寺秀俊教授「0275 工学部間接経費受入用」	興津 輝	臓器移植医療部	500,000	補 委 (独)科学技術振興機構
ET-Kyoto液を用いた細胞培養と細胞接着制御に関する研究	岩永 康裕	臓器移植医療部	550,000	補 委 株式会社大塚製薬工場
ナノテクノロジーを利用した組織障害を最小化する臨床用膵島分離技術の開発	興津 輝	臓器移植医療部	0	補 委 宮崎県工業技術センター
先端医療の開発に必要な臨床試験を支える倫理基盤の整備	村山 敏典	探索医療センタ-	1,700,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
傷害腸管粘膜の再生修復におけるHGFの役割の検討	沼田 政嗣	探索医療センタ-	1,100,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
新たな幹細胞増幅因子とヒト心臓内幹細胞を併用した心不全への自家細胞移植療法の開発	王 英正	探索医療センタ-	7,700,000	補 委 文部科学省基盤研究(B)新規
Pharmacogenomicsに基づいたテーラード癌化学療法の確立に関する研究(SRP)	清水 章	探索医療センタ-	25,000,000	補 委 (株)ヤクルト本社

注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入力すること。

3 「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入力すること。

小計15

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
bFGF/アテロコラーゲン製剤によるマウス血管新生モデルへの効果	福島 雅典	探索医療センタ-	9,477,930	補 委 株式会社京都レ メディクス
脾臓移植部位の血管新生誘導能ならびに移植脾臓の保護機能を有する支持体の開発	福島 雅典	探索医療センタ-	0	補 委 株式会社 高研
ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)のための加速器中性子がん治療に用いるホウ素薬剤の治験申請に関わる準備研究	福島 雅典	探索医療センタ-	4,620,000	補 委 ステラファーマ 株式会社
ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)のための加速器中性子がん治療に用いるホウ素薬剤の治験申請に関わる準備研究	福島 雅典	探索医療センタ-	4,620,000	補 委 住友重機械工業 株式会社
チオレドキシンによる急性呼吸器疾患新規治療法の開発	清水 章	探索医療センタ-	5,375,000	補 委 (独) 医薬基盤 研究所
創薬・新規医療開発のアカデミア拠点形成	探索中尾 一和	探索医療センタ-	243,600,000	補 委 文部科学省
遺伝子組換えヒトチオレドキシン蛋白による急性肺障害治療薬の研究開発	中村 肇	探索医療センタ-	1,940,000	補 委 レドックス・バイ オサイエンス (株)
動脈硬化性疾患の成因と予防に関する探索研究	横出 正之	探索医療センタ-	25,000,000	補 委 大塚製薬株式会 社
プロパゲルマニウムのインスリン抵抗性に対する効果の検討	横出 正之	探索医療センタ-	4,950,000	補 委 三和化学(株)
がん診療教育システム構築	柳原 一広	外来化学療法部	1,500,000	補 委 文部科学省基盤 研究(C)継続
薬物動態・薬理遺伝学に基づいたテーラーメイド抗がん剤治療の標準治療化に関する研究	石黒 洋	外来化学療法部	800,000	補 委 文部科学省基盤 研究(C)継続
横紋筋肉腫におけるメチル化DNA領域網羅的解析による発癌機構の究明	三沢 あき子	外来化学療法部	863,736	補 委 文部科学省若手 研究(B)継続
切除不能進行膵癌(局所進行又は転移性)に対するGemcitabine療法 / TS-1療法 / Gemcitabine+TS-1併用療法の第Ⅲ相無作為化比較試験	松本 繁己	外来化学療法部	単価315,000	補 委 大鵬薬品工業 (株)
前処理装置を搭載した高感度遺伝子多型検出用バイオチップシステムの開発	乾 賢一	薬剤部	未定	補 委 東レ株式会社
ヒト薬物トランスポートソームの発現プロファイル構築に基づく薬物動態学的意義の解明	乾 賢一	薬剤部	4,900,000	補 委 文部科学省特定 領域研究新規

注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入力すること。

3 「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入力すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額(円)	補助元又は委託元
メタボリックシンドローム患者の薬物動態変動機構の解明と薬物治療への応用	乾 賢一	薬剤部	16,300,000	補 委 文部科学省基盤研究(A)新規
薬物トランスポータの膜局在決定因子の同定と極性輸送機構の解明	桂 敏也	薬剤部	1,700,000	補 委 文部科学省基盤研究(C)継続
電子カルテ2次利用システムに基づくがん薬物療法における副作用データベースの構築	池見泰明	薬剤部	400,000	補 委 文部科学省奨励研究新規
免疫抑制剤の薬物動態と薬効の速度論的解析と相互作用を考慮した適正使用法の開発	福土 将秀	薬剤部	300,000	補 委 文部科学省本学分担者用継続
数理的モデルを利用した薬物トランスポータ輸送ネットワークの解明	津田真弘(DCI)乾賢一教授	薬剤部	900,000	補 委 文部科学省特別研究員奨励費継続
複数の免疫抑制薬併用による効果・副作用の増強と減弱に関する分子機構解明	増田 智先	薬剤部	6,200,000	補 委 文部科学省若手研究(A)継続
正常並びに病態時における小腸及び腎薬物トランスポータの転写制御機構の解明	寺田 智祐	薬剤部	4,700,000	補 委 文部科学省若手研究(A)継続
ヒト有機カチオントランスポータの変動と薬物動態学的重要性	本橋 秀之	薬剤部	1,300,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
肝移植患者におけるミコフェノール酸の適正使用を目指した母集団薬物動態・薬効解析	福土 将秀	薬剤部	1,500,000	補 委 文部科学省若手研究(B)継続
尿細管セグメントの網羅的遺伝子発現解析によるシスプラチン腎症規定因子の同定	米澤 淳	薬剤部	1,800,000	補 委 文部科学省若手研究(B)新規
腎及び肝薬物トランスポータの発現制御機構の解明と個別化薬物療法への応用	小笠原 健(DCI)乾賢一教授	薬剤部	600,000	補 委 特別研究員奨励新規
近位尿細管局所の遺伝子発現プロファイルに基づいた腎病変進展の分子機構解明	西原久美子(DCI)乾賢一教授	薬剤部	600,000	補 委 特別研究員奨励新規
薬剤性腎障害の非侵襲性マーカーの探索と臨床的重要性の解明に関する研究	増田智先	薬剤部	66,979,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業(創薬バイオマーカー探索研究事業))
薬物輸送蛋白(トランスポータ)の機能制御機構に関する研究	乾 賢一	薬剤部	2,200,000	補 委 大日本住友製薬株式会社
LCMSによるTDM対象薬剤の代謝物分析法の開発	乾 賢一	薬剤部	4,320,000	補 委 株式会社日立ハイテクノロジー

小計15

注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なるものを記入すること。
 2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部署	金 額 (円)	補助元又は委託元
遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	真鍋 俊明	病理診断部	1,800,000	④ がん臨床研究事業継続 委

計256

注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biol. Blood Marrow Transplant	Growth and differentiation advantages of CD4+ OX40+ T cells from allogeneic hematopoietic stem cell transplantation recipients.	進藤 岳郎	血液・腫瘍内科
Am. J. Hematol	Potential of dendritic cell immunotherapy for relapse after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation, shown by WT1 peptide- and keyhole limpet hemocyanin-pulsed, donor-derived dendritic cell vaccine for acute myeloid leukemia.	北脇 年雄	血液・腫瘍内科
Bone Marrow Transpl.	Consulting clinic for related family donors in hematopoietic stem cell transplantation.	一戸 辰夫	血液・腫瘍内科
Haematologica	Serum hepcidin level and erythropoietic activity after hematopoietic stem cell transplantation.	諫田 淳也	血液・腫瘍内科
Nat Struct Mol Biol	Phosphorylation of APOBEC3G by protein kinase A regulates its interaction with HIV-1 Vif.	白川 康太郎	血液・腫瘍内科
Proc. Natl. Acad. Sci. USA	Ozone production by amino acids contributes to killing of bacteria.	山下 浩平	血液・腫瘍内科
Blood	Kpm/Lats2 is linked to chemosensitivity of leukemic cells through the stabilization of p73.	河原 真大	血液・腫瘍内科
Transfusion	Impact of ABO mismatching on the outcomes of allogeneic related and unrelated blood and marrow stem cell transplantations for hematologic malignancies: IPD-based meta-analysis of cohort studies.	諫田 淳也	血液・腫瘍内科
Eur J Clin Microbiol Infect Dis	Effects on spectrum and susceptibility patterns of isolates causing bloodstream infection by restriction of fluoroquinolone prophylaxis in a hematology-oncology unit.	吉岡 聡	血液・腫瘍内科
Endocrinology	Systemic administration of C-type natriuretic peptide as a novel therapeutic strategy for skeletal dysplasias.	A. Yasoda, et al.	内分泌・代謝内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
FEBS Lett.	Adipogenic differentiation of human induced pluripotent stem cells: Comparison with that of human embryonic stem cells.	D. Taura, et al.	内分泌・代謝内科
Diabetologia	Beneficial effects of leptin on glycaemic and lipid control in a mouse model of type 2 diabetes with increased adiposity induced by streptozotocin and a high-fat diet.	T. Kusakabe, et al.	内分泌・代謝内科
Kidney Int.	Urinary neutrophil gelatinase-associated lipocalin levels reflect damage to glomeruli, proximal tubules, and distal nephrons.	T. Kuwabara, et al.	内分泌・代謝内科
Neurosci. Lett.	Orexins increase mRNA expressions of neurotrophin-3 in rat primary cortical neuron cultures.	N. Yamada, et al.	内分泌・代謝内科
Peptides	Orexin decreases mRNA expressions of NMDA and AMPA receptor subunits in rat primary neuron cultures.	N. Yamada, et al.	内分泌・代謝内科
Endocrinology	The role of mineralocorticoid receptor expression in brain remodeling after cerebral ischemia.	N. Oyamada, et al.	内分泌・代謝内科
Kidney Int.	Adrenomedullin inhibits connective tissue growth factor expression, extracellular signal-regulated kinase activation and renal fibrosis.	K. Mori, et al.	内分泌・代謝内科
Endocrinology	Efficacy of ghrelin as a therapeutic approach for age-related physiological changes.	H. Ariyasu, et al.	内分泌・代謝内科
Circulation	Long-term outcomes of coronary-artery bypass graft surgery versus percutaneous coronary intervention for multivessel coronary artery disease in the bare-metal stent era.	木村 剛	循環器内科
J Am Coll Cardiol	A novel SCN5A gain-of-function mutation M1875T associated with familial atrial fibrillation.	牧山 武	循環器内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

小計10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circulation	Antiplatelet Therapy and Stent Thrombosis After Sirolimus-eluting Stent Implantation.	木村 剛	循環器内科
IJCA2009	Sudden cardiac death after PCI and CABG in the bare-metal stent era: Incidence, prevalence, and predictors.	西山 慶	循環器内科
IJCA.2009	Chronic Obstructive Pulmonary Disease—an Independent Risk Factor for Long-term Cardiac and Cardiovascular Mortality in Patients with Ischemic Heart Disease.	西山 慶	循環器内科
The Annals of Thoracic Surgery	Temporal Pattern of Strokes after On-Pump and Off-Pump Coronary Artery Bypass Graft Surgery.	西山 慶	循環器内科
Circ.J.2009	The Impact of CYP2C19 Polymorphisms on the Antiplatelet Effect of Clopidogrel in an Actual Clinical Setting in Japan.	陣内 俊和	循環器内科
Gastroenterology	Small intestine Peyer's patches are major induction sites of the Helicobacter-induced host immune responses.	渡部 則彦	消化器内科
Science	Generation of pluripotent stem cells from adult mouse liver and stomach cells.	青井 貴之	消化器内科
Dis Colon Rectum	Therapeutic efficacy of infliximab on patients with short duration of Crohn's disease: A Japanese multicenter survey.	千葉 勉	消化器内科
Hepatology	Activation-induced cytidine deaminase links bile duct inflammation to human cholangiocarcinoma.	丸澤 宏之	消化器内科
Intern Med	The effect of medical treatment on patients with fistulizing Crohn's disease: our experience with a retrospective study.	宇座 徳光	消化器内科

注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

小計10